

2026.5.6
NEW OPEN!

まあるい心 まあるい笑顔
まあるい輪 まあるい輪
手と手をつなぐ くまこの宝物



公民館にカフェがオープン！
ごはん&カフェ なんもなんも

砂川市公民館の一階、図書館の隣にあるラウンジに新たに素敵なお店がオープン！
その名も「ごはん&カフェ なんもなんも」
カリスマ店員や司会者などで活躍された、森くまさんが明るく迎えてくれます。
カウンター席合わせて27席と広々とした店内。食事だけでなくいつでも利用できるキッズスペースも隣接しています。お子様連れの方から、年配の方までゆつくりとランチを楽しめる空間です。
隣町や遠くからでも、いろんな方が来てくれて嬉しい、と話してくれました。こころさん。「ちょっと座っていつて」とやさしく声をかけてくれたりと、お喋りが弾み、つつい長居してしまう居心地の良さ。
以前から古民家カフェをやりたいという夢もついていたそうで、北海道弁の「なんもなんも」というやさしい言葉がびつたりのアットホームなお店です。明日はなにをつくらうか、と前日に買い出ししながらメニューが決まることも多いそうです。
何が食べられるかは当日のお楽しみ！ぜひ立ち寄ってみてくださいね。

SuBACo だより

砂川市 地域おこし協力隊

2026
5月号

まちなか交流施設
すないる
SuBACo

西1条北2丁目1-20
0125-74-4885
8時30分～17時
休館日 土日祝

企画・編集
砂川市役所
地域おこし協力隊
商工労働観光課
中野有菜
政策調整課企画調整係
田村 翼



もつ煮定食 750円



クリームソーダ
(いちご/日向夏/エメラルドバイン)



チキンカレー 750円

ごはん&カフェ なんもなんも
〒073-0168 西8条北3丁目1の1 公民館1階
090-1649-1348
月～金 11時～18時 土曜11時～17時

今月の
ひと皿

なんもなんもの
日替わり肉定食

お店の一押し、日替わり定食。
「お肉」と「お魚」の2種類から選ぶことができ、メインメニューが日によって変わります。



ホロホロ手羽元煮込み定食 850円

お味噌汁・5～6種類の小鉢がついてボリューム満点！山菜など旬の野菜を使用しており、栄養面でもうれしいラインナップ。すべて手間をかけて手づくりされているようで、どこかほっとする味。そのほか、ほろほろになるまで煮込まれたチキンカレー、ごはんが進むもつ煮定食もおすすです。ドリンクセットにするとお得なので、食後にコーヒーもぜひ。5種類から選べるクリームソーダも要チェック！

砂川をはじめ空知の近隣市町村にまつわる本
砂川のお店の店主さんが選ぶ本が並ぶ
すないる多目的室 図書コーナー



小さいお子さまでもわかるヒグマの生態



直木賞候補作



生徒のスイッチを入れる



自分の身は自分で守る
ヒグマの生態から遭遇リスクを下げるための一冊

毎日多くの方が思い思いに過ごされているすないるの多目的室には100冊以上の本や漫画が並んでいます。3か月ごとに変わる[いわた書店岩田さん選書コーナー]も人気です。様々な角度から砂川を知るきっかけにもなる、馴染みのお店の店主さんおすすめの本コーナーも興味深く面白いですよ。約40冊あるキッズコーナーの絵本もご自由に手に取ってくださいね！

※貸し出しはしていません

砂川のおいしいを味わう
ルバーブジャムと
オリジナルパフェをつくらう



砂川市公民館
6/20(土)
予約受付中



公民館にて、室松農場の室松さんを講師にお招きし、ルバーブのジャム・パフェづくりワークショップを開催いたします！
最近あちこちで見かけるようになったルバーブは、杏のような甘酸っぱさ。ジャムにするのもとってもおいしいのです。
ジャムづくりの後は、岩瀬牧場のアイスなど砂川スイーツを使って自分だけのオリジナルパフェをみんなで作ってみましょう。
親子での参加も大歓迎です！
詳細・予約方法はSuBACoインスタグラムにてご確認くださいね。

すないる選書



すながわのおみせ

Cake&Cafe 笑飛巢

vol.18

地域に寄り添い、笑顔を届ける場所。
砂川のご当地グルメと温かな想いが詰まった「笑飛巢」



店長の奥山芳美さん
インタビュー中は終始明るい笑顔で場を和ませてくれました。

始まりは「地域のために」。

就労支援施設としてのアプローチ

「笑飛巢」が誕生したきっかけは、当時この周辺に就労支援施設がなかったことでした。地域で必要とされている場所を作りたいという想いから、もともと倉庫だった建物を改装し、福祉施設を兼ねた飲食店としてスタートを切りました。

店長の芳美さんがここで働くことになったのは、運営会社の社長であるご主人を手伝うためだったと言います。「最初は少し手伝うくらいの気持ちで入ったんですけど、気づけばそのまま今に至っています」と芳美さんはチャームニングに笑います。

福祉施設としての側面も持つ笑飛巢では、メニュー作りにも独自の工夫があります。「誰でも作れるようなもの、あまり難しくすぎないものを意識しています。みんなが安心して調理に関われることが大切なんです」その言葉の通り、厨房ではスタッフが一丸となり、丁寧に、そして効率よくお客様に料理を提供できる体制が整えられています。

名物ポークチャップと、店長イチオシの隠れた逸品

お店の目玉商品は、なんといっても砂川のご当地フードである「ポークチャップ」です。砂川ポークチャップ協議会にも加盟している本格派で、テレビなどのメディアにも度々取り上げられるほどの人気を誇ります。

実は、オープン当初からポークチャップがあつたわけではありません。砂川市全体でご当地グルメで街を盛り上げようという動きが始まったことをきっかけにメニューに加えたところ、瞬く間に大ヒット。今では遠方からわざわざ足を運ぶお客さんも絶えない、お店の顔となりました。

笑飛巢のポークチャップの最大の特徴は、圧倒的な提供の早さと柔らかさです。「時間をかけてじっくりと低温調理をして、事前にしっかりと準備をしています。だから、ご注文をいただいてからすぐにお客様の元へお届けできるんです」

さらに、人気商品のエクレアなども並ぶ中、店長の芳美さんが「実は私、これが一番好きなんです」と太鼓判を押す隠れた名物メニューがあります。それが「ラーメン」です。「ポークチャップのイメージが強いので、皆さんあまり期待せずに注文されることが多いみたいなんです(笑)。でも、口コミでも『食べてみたら美味しくてびっくりした!』という声をよくいただきます。私は白湯塩が推しですが、一番人気は定番の醤油ですね」

ガッツリ食べたいときはポークチャップ、ほっと一息つきたいときはラーメン。訪れるたびに違った美味しさに出会えるのも、笑飛巢の大きな魅力です。

繋がりが広がる、社長の遊び心と「ライフ」との連携

笑飛巢で食事をすると、ソフトクリームの割引券がもらえます。実はこれ、国道沿いにある人気の雑貨屋「ライフ」で使えるもの。笑飛巢の母体は、地元の建築会社「奥山工業所」であり、そこから「笑飛巢」、そして雑貨屋「ライフ」へと展開してきました。

「社長が『ソフトクリーム屋さんもやりたい!』と言いついて始めたんです。でも、大々的に宣伝するのではなく、笑飛巢に来てくれたお客さんに割引券を渡して、そっちにも足を運んでもらおうという流れになりました。社長の趣味のようなものですね」と芳美さん。

飾らない、どこかアットホームな遊び心が、お店の居心地の良さにも繋がっています。



落ち着いた雰囲気の内
ゆったりとした時間が
流れていました

これからの「笑飛巢」が目指す形

店長の芳美さんご自身も苦小牧の出身。ご主人の仕事の関係で苦小牧で出会い、結婚を機に砂川へとやってきました。プライベートではゲームや、今流行りのサカナクションなどのライブが趣味というアクティブな一面も持ち、インタビュー中もその明るい人柄で場を和ませてくれました。

そんな芳美さんに、これからのお店について伺いました。「札幌とか、遠くからわざわざ来てくださるお客さんもちろん本当にありがたいです。でも、ここはやっぱり砂川のお店なので。これからはもっともっと、地元の砂川の皆さんに気軽に利用してもらえような、地域に寄り添ったお店にしていきたいなと思っています」

お腹を満たすだけでなく、地域の就労を支え、街の活性化にも貢献する「笑飛巢」。店長の芳美さんの温かい笑顔と、じっくり手間暇かけた美味しい料理が、今日も訪れる人々を優しく迎えています。

えびすのオススメ!



- ・ポークチャップ600g
ライス・サラダ・スープ付
2,950円
- ・ポークチャップベアセット
ライス・サラダ・スープ 各種2つ付き
3,200円

〒073-0131
砂川市東7条南8丁目1番10号
0125-74-5868
11時~17時(16時30分)
定休日 毎週水曜日・毎月第3火曜日
駐車場あり

編集後記

イベントシーズンがやってきますね。地場野菜や山菜がはじめて、料理が楽しくなってきました(中野)
最近蕎麦にハマっていて毎日食べてます。(笑)
そうめんの季節が待ち遠しい・・・(田村)